

店品 技人

ファイル63
取材日:H25.2.18

田口デンキ

所在地:横手市神明町2-22
TEL.32-3414 FAX.050-7523-4262
【創業】昭和30年
【営業時間】9:00~18:00
【定休日】日曜日
【取扱品】家電製品・販売修理
放送機材販売・レンタル



プロフィール

たぐち かずや
田口 和也
誕生日:昭和33年4月12日生まれ
趣味:オーディオ、パソコンの自作
出身地:横手市

横手のお祭りの放送設備から横手かまくらFM(株)など様々な場面でご活躍の田口デンキさん。気になる家電情報を伺いながら、町のデンキ屋さんとして皆から親しまれる秘密に迫ります。

創業について教えてください。

昭和30年に父が「田口ラジオ店」として創業して、私が二代目になります。創業当時の電器屋さんの主力商品といえばラジオだったんですよ。またテレビも普及していない時代ですからね。

なるほど、それで当時は「田口ラジオ店」だったんですね。お店を継がれた経緯は?

昔から父の仕事を見て育って店を継ぐものだと考えていたので、学校を出てから青森にある家電販売店に就職しました。そこで3年働いて、昭和54年に横手に戻ってきました。

その頃の主力商品って覚えていらっしゃいますか?

ビデオデッキが普及し始めた時期でしたね。コンパクト化、低価格化が進んでいる今では考えられないくらい大きくて、価格も20万くらいいたんですが、

それでも当時、良く売れましたね。

大きいビデオデッキを運んでお客様の家庭に設置してたんですね。

そうですね。その頃のお客さんは今もうちのお得意様ですよ。電器屋というのは家電の設置や修理のために人の家の中に入っていくしかないのですが、知らない人が家の中に入る事に抵抗がある人も多いようで、だから顔見知りの私が行くと安心するようですね。

いつも来てくれる電器屋さんだと言葉で伝えなくても家の中の配線がどうなっているのかわかってもらえているので安心ですね。

最近は修理依頼の他にも、家電の使い方が分からなくて「どう操作するの?」というようにお問い合わせもよくありますね。

町の電器屋さんで購入すると購入後のメンテナンスはもちろ

ん、操作の仕方も気軽に問い合わせできるのでうれしいですね。最近の家電は新製品が出るのが早いし、次々と機能が増えて便利な半面、電器屋さんとしてはマニュアルや修理方法など覚えることが多く大変ですね。

メーカーの説明会や同業者同士での情報交換を常に行っているのもそれほど大変ではないですよ。それに家電自体がデジタル化しているので修理もドライバー一本だけ持って、基盤の交換をするだけなんてことも増えてきましたよ。



▲蛍光灯を検査する機械

ところで、電器屋さんを始める上で必要な資格はありますか?

家電を販売するだけなら、安全上の知識があれば特に資格は

ち上げに田口さんの資格が役立つとお聞きしたんですが...

そうですね。陸上無線技術士の資格がありますので、今も横手かまくらFM(株)の仕事をしています。

横手かまくらFM(株)ではどのような業務に携わっているんですか?

今は技術部長として放送機器のメンテナンスなどを担当しています。いつもきれいに放送が聴けるのは田口さんのおかげでもあるんですね。その他にもFMで番組も担当されていますよね。

そうですね。『使用上の注意』(※)という番組を担当しています。主に電化製品の紹介や歴史、使用する上での注意点などを話しています。

番組を聞いたことがあるのですが目からうろこ!というような情報が盛りたくさんでとても面白いんですね。今、注目の家電はありますか?

横手市の緊急防災情報自動受信できる「緊急告知ラジオ」です。横手かまくらFMの放送電波を利用した緊急地震速報も1月末から始まっているので、事業所や商店にお勧めです。緊急地震速報の提供サービスは月々の利用料金があたりりますが、9,450円のラジオ本体だけで済みます。

もしもの災害時には大いに役立ちますね。どちらで購入できるんですか?

当店はもちろん、横手市内の秋田県電機商業組合加盟店や横手かまくらFMで販売しています。

安心・安全の為に一つあると心強いですがからね。ぜひ、一家に一台(笑)!では、田口さんが最近、購入された家電で良かったものを教えてくださいませんか?

マルチメディアタブレットとしての機能がある、防水ポータブルテレビを購入したのですが家族からの評判が良いですね。無線なので家の中でも使えます。お風呂場でテレビを見たり、台所でレシピをみながら料理したり、その他にも書籍アプリをダウンロードすれば本も読めます。とても便利です。

そうですね。(お風呂でのリラックスタイムにぜひ使ってみたいと思うスタッフ)では最後に趣味について伺いたいと思います。

昔は自分でアンプを組み立てていましたね。もともと興味はなかったんですが、雑誌に載っていたアンプの設計者が秋田市の方だったので、俺もやってみようかな...と思って、教わりに行ったのがきっかけですね。

手造りのアンプは、どんな音がするんですか?

ん、雑音がひどいですね(笑)。メーカーのアンプは雑音が入らないように造られているので、機械で音が補正されてきれいな音が出ますけど、手作りのアンプは雑音がひどい分、「生の音」が聴けるって感じかな。

既製品から出る音とはまた違ったいい音なんですね。

アナログならではのあじわいのあるいい音だよ。

今はCD音源より高解像度なハイレンリューション音源が流行っているんだけど、それをより楽しむにはパソコンとオーディオを接続するDAC(デジタル・アナログ・コンバーター)という機械を使うんだけど、今度はそれを作ってみたかなと思ってます。いいものを聴きたいけど買えば高いですね。

カッコいいですね。電気機械を作りたいから作るってなかなか出来ないことですよ。完成したらぜひ聴かせて下さい!

町のデンキ屋さん・横手かまくらFM(株)の技術部長とお忙しい日々をお過ごし田口さん。その気さくな人柄と信頼できる知識・技術があるからこそ地域の皆さんに愛されるんですね。本日は誠にありがとうございました。

(※)『使用上の注意』...横手かまくらFMにて毎週木曜日午後1時30分放送中!



▲お店には貴重なラジオがありました!

確かに資格をとって置いて損はありませんよね。ちなみに田口さんはどんな資格をお持ちですか?

「電気工事士」、「陸上無線技術士」、「デジタル検定」、「家電製品エンジニア」などいろいろ持っていますよ。全部で10個くらいはあるんじゃないかな(笑)

すごいですね。横手かまくらFM(株)立